

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 八幡福祉協会

全体事項

新型コロナウイルス感染症の感染対策も 3 年目となりましたが、感染状況は改善せず、当施設でも 7 月～9 月の第 7 波の際に発生したクラスターの対応に追われる等、計画通りの事業運営が難しい一年となりました。

そのような状況の中でも、感染対策を徹底し、利用者の皆様に少しでも生活に楽しみを持っていただけるようなサービスの提供に努めました。

施設整備に関しましては、補助金等を活用し、感染対策に必要な機器の導入や介護サービスの質の向上に向けた改修工事等に取り組みました。

今後は、これまで様々な制限によって見送らざるを得なかった事業に積極的に取り組み、コロナ以前の日常を取り戻しながら、笑顔溢れる施設になるようなサービスを提供します。

共通事項

1. 人材育成・人材確保の取り組み

従来のトップダウン型からボトムアップ型の組織を作るため、指導的役割を担う職員を対象に施設内勉強会を計画しておりましたが、新型コロナウイルスの感染リスク等を考え中止しました。安定した法人運営の継続には次世代の人材育成が重要であるため、引き続き取り組んで参ります。

人材確保に関しては、法人職員の平均年齢が上昇していることから、新卒採用を進めるために、担当者を選任し就職フェアに積極的に出展しました。その結果、令和 5 年 4 月より 1 名の採用が決まりました。また、新型コロナウイルスの影響で見送っていた技能実習生の受け入れについては、渡航自粛要請が緩和されたことを受け、1 月にインドネシアで面接を行い、2 名の受け入れを決定しました。今後は自国で基礎的な介護技術や日本語勉強に組み込み、令和 5 年 8 月

頃に入国する予定です。

2. 環境の整備について

新型コロナウイルスへの感染対策として、京都府地域密着型サービス等整備助成事業補助金を活用し、施設内で感染者が発生した場合にウイルス等の拡散を防止できる簡易陰圧装置を2台配置しました。

感染対策しつつご家族との面会を対面で実施するため、新型コロナウイルス感染防止対策等事業補助金を活用し、飛沫対策の亚克力板と加湿・除菌等が可能な高度洗浄加湿装置を設置の上、複数の出入り口を確保した面会室を整備しました。

特別養護老人ホーム等のユニット化改修等事業（看取り環境整備）補助金を活用し、会議室を改修して、終末期に入られた利用者が、限られた時間をご家族と共に穏やかな雰囲気の中で過ごしていただけるような空間を整備しました。

予定していたICT機器の導入につきましては、機器の高騰及び補助金が承認されなかったことを受け、見送ることとしました。

3. 役員会等の状況

① 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
令和4年6月16日	7名 (監事1名)	① 令和3年度事業報告（案）について ② 令和3年度収支決算（案）について

② 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
令和4年5月25日	6名 (監事2名)	① 令和3年度事業報告(案)について ② 令和3年度収支決算(案)について ③ 令和4年度の昇給率及び賞与支給月等(案)について
令和4年12月7日	6名 (監事2名)	① 令和4年度 中間報告
令和5年3月23日	6名 (監事2名)	① 令和4年度収支予算補正(案)について ② 令和5年度事業計画(案)について ③ 令和5年度収支予算(案)について ④ 災害補償等に関する規程(感染症補償)(案)について

③ 監事監査の実施状況

令和4年5月17日に、監事2名による監査を実施していただきました。
その結果、事業報告は関連する法令及び通知に従い、当法人の事業の執行状況を正しく示し、適切に処理されていると認めていただきました。

4. その他の状況

① 衛生教育について(産業医講話)

年 月 日	参加人数	内容
令和4年10月19日	15名	腹痛について
令和5年3月15日	18名	新型コロナウイルスの今後と予防接種

② 職員健康診断等

年 月 日	検診内容	受診者数
令和4年7月22日～8月25日	新型コロナワクチン接種4回目	46名
令和4年9月26日	職員健康診断（腰痛検診含む） ※当日未受診者は、医療機関にて実施	39名
令和4年11月14日～11月18日	職員インフルエンザ予防接種	55名
令和4年11月22日～12月9日	新型コロナワクチン接種5回目	49名
令和5年3月13日	腰痛検診	17名
令和5年3月14日～3月17日	職員健康診断（夜勤業務従事者）	22名

③ 消防訓練の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
令和4年10月27日	14：30～	昼間訓練（消防署立会い）
令和5年3月31日	14：30～	夜間想定訓練（自主訓練）

④ 各事業所目標達成率

事業所	目標利用率等	利用率等
特別養護老人ホーム	95.7%	88.3%
短期入所生活介護	46.4%	38.6%
通所介護	80.0%	68.8%
居宅介護支援	600件	590件

各事業所の事業報告

施設サービス事業所

特別養護老人ホーム

新型コロナウイルス感染症の拡大が治まらない中、前年に引き続き感染防止の徹底に努めました。入居者・職員の検温、マスクの着用、施設内の換気、アクリル板の設置、手指等の消毒等の対策を徹底し、職員は濃厚接触を避けるため15分以内を目安に入居者の介助に当たりました。

入居者と職員に発熱や体調不良があった場合、また、職員の同居者に陽性者や濃厚接触者が確認された際は抗原検査を行うなど、施設内感染を未然に防ぐよう努めました。また、入居者・職員にできる限りワクチン接種していただくように働きかけました。

面会については対面での再開を計画しておりましたが、感染の状況が改善しなかったことからオンラインによる面会を継続しました。

このように、様々な感染対策に取り組んでおりましたが、8月に施設内でクラスターが発生しました。ゾーニングを実施し感染拡大の防止に努めましたが、収束まで約1か月を要しました。

介護現場では、入居者の安心・安全な生活を前提に、介護職員の負担を軽減すべく、前年度に導入した見守り介護ロボット・インカム・タブレットの習熟に取り組みました。具体的には、日勤帯の出勤者全員がインカムを装着し、見守りセンサーからの通知があった場合に、統一した方法で情報共有が出来るようになりました。また、職員が密になりやすい会議やミーティングをインカムを通じて行うことで感染予防に繋がった他、施設内でクラスターが発生した時には、感染者がいる部屋からの連絡手段としても活躍しました。職員が個々の業務に入っている時にも情報共有ができるため、入居者へのケアが均一に行えるよう

になりました。

また、どこでもケア記録の入力作業ができるタブレット端末を活用し、入居者の情報を各端末で閲覧できるようにし、紙ベースでの記録を極力減らせるように取り組みました。次年度も引き続き習熟に取り組みます。

看取り介護の取り組みとして、終末期を迎えた入居者と家族が自宅に居るようによりゆっくりとくつろげる空間（部屋）で、より良い終末を迎えられるように環境を整備しました。看取りケアへの理解をより深めるため、看取り経験の少ない職員は導入編としての外部研修、経験の多い職員は様々な看取りに対応できるよう専門研修に参加しました。

前年に引き続き新型コロナウイルスの影響で外出などの行動が制限され、入居者の皆様には刺激の少ない生活が続きました。そのような状況の中でも生活に楽しみを感じていただくために、歩こう会や体操などを取り入れ体を動かす機会の確保や施設内で行えるレクリエーションの充実に取り組みました。

適切なケア及びサービスを提供できるように、役職員を中心に毎日開催したミーティングで、入居者の状況や翌日の予定の確認・業務改善の検討を行いました。特に介護と医務の連携を密にして、感染症の防止や早期受診・情報共有を行い、入居者の健康の保持と利用率の安定に努めました。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響を受けて新規入居者の面接等が行えない状況が長く続いたことや当施設でクラスターが発生したこともあり、利用率が低下しました。

特養入居者等の状況

① 退所状況

年 月 日 (現在)	死亡	解約の申出	合 計
令和4年3月31日	20人	2人	22人
令和5年3月31日	27人	2人	29人

② 要介護度の状況

年 月 日 (現在)	要介護度					平均要 介護度
	1	2	3	4	5	
令和4年3月31日	1人	0人	18人	28人	18人	3.95
令和5年3月31日	0人	0人	26人	25人	11人	3.75

③ 利用実績

年 度	延入居者数	一日平均入居者数	備 考
令和3年度	23,735人	65.0人	利用率92.9%
令和4年度	22,567人	61.8人	利用率88.3%

④ 入居者検診状況

年 月 日	検診内容	受診者数
令和4年10月11日	胸部レントゲン撮影 在館61名	53名
令和4年11月28日～ 令和4年11月30日	入居者インフルエンザ予防接種 ※入院中の入居者については、 入院先の病院で接種されています。	59名
令和4年7月22日～ 令和4年8月12日	新型コロナウイルスワクチン接種 4回目 ※接種希望者のみ	50名
令和4年11月22日～ 令和4年11月25日	新型コロナウイルスワクチン接種 5回目 ※接種希望者のみ	56名

⑤ 行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
4月1日	夜桜見物	12月22日	年忘れ会
9月16日	夏祭り	12月28日	もちつき大会
10月23日	運動会	12月31日	居酒屋

⑥ 研修（実習）受入状況

京都八幡高校介護福祉科から介護福祉士実習、京都医療福祉専門学校から社会福祉士実習の受入れ依頼がありましたが、新型コロナウイルス流行時期と重なったことから、入居者への感染防止のため見送りました。

※施設見学会等も開催を見送りました。

（介護予防）短期入所生活介護事業所[ショートステイ]

ショートステイでは、新型コロナウイルス感染症の流行期においても、ご家族の介護負担軽減を図るためサービス提供の維持に努めました。

送迎時には検温と健康状態の聴き取りを行い、安心・安全に利用出来るように感染予防を徹底しました。

サービス利用中も健康状態を観察して、発熱や咳等の症状が見られた場合は速やかに隔離対応し、家族に病院受診を依頼しました。症状によっては抗原検査を行い、陰性であることを確認してからご利用いただきました。

特別養護老人ホームで新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した際には、ショートステイ利用者への感染はなかったものの、やむを得ずサービスを中止する期間（8月6日～9月12日）がありました。

利用中はできる限りご自宅での生活環境に近い形でのサービス提供に努めると共に、レクリエーションの充実を図り、楽しみながらご利用いただける取り組みを実践しました。

在宅生活の継続が困難な方に関してはできる限り受け入れを行い、特に八幡市から緊急性が高いケースの相談を受けた際は積極的に対応しました。今後も社会福祉法人の役割である地域のセーフティーネットになれるよう努めます。

ショートステイ年間利用実績（短期入所・介護予防短期入所）定員 14 名

年 度	年 間	月平均	一日平均	利用率
令和 3 年度	2,066 人	172.1 人	5.7 人	40.4%
令和 4 年度	1,989 人	165.7 人	5.4 人	38.9%

在宅サービスセンター

（介護予防）通所介護事業所〔デイサービス〕

ご利用者の皆様が、居心地が良く安心してお過ごしいただくために、日々のコミュニケーションを大切にしながら、サービスを提供しました。

サービスの利用中に使用していただく座席についても、従来は便利さ等を重視し、汚れにくい素材を選定していましたが、ご利用者の快適さを優先し、一人掛けのソファやオットマン（足置き台）等を導入しました。また、落ち着いた雰囲気の中、フットマッサージやエアマッサージ（メドマー）を行うことで浮腫や血行の改善に取り組みました。

レクリエーションについては、ご利用者の意思でデイサービスでの過ごし方を選択できるよう、グループや個別形式で実施した他、夏祭り・クリスマス会・運動会等の年間行事を実施しました。また、コロナ渦で外出できず、窮屈な思いをされていたご利用者が多数おられましたので、秋頃より少人数での外出を再開しました。外出することが、日々の歩行訓練などを行う良い目標となっており、改めて外へ出かける事の大切さを実感しました。

ご利用者やご家族に安心してデイサービスをご利用いただけるように以前より活用している連絡ノート（ふれあいノート）には、利用時の写真などを貼り、よりわかりやすくお知らせするようにしました。ご家族からの相談・要望・苦情等には役職員及び相談員が主となり、迅速かつ丁寧な対応を心掛け

ました。また、介護・看護職員で連携を図り、利用者の体調等をしっかり把握し、体調不良や急変時には速やかにご家族、主治医、関係機関へ連絡し、適切な対応を行うことで大きな事故やケガもなく事業を運営することができました。

その他、新型コロナウイルス感染症への対応として、検温・マスク着用・手指洗浄・アルコール消毒・換気を徹底し、利用者、職員の体調等の把握に努めることで休業することなく事業を継続することができました。

デイサービス年間利用実績(第1号通所介護含む) 定員 25名

年 度	要介護 1～5	要支援 1、2	一日平均
令和3年度	5,063人	486人	18.3人
令和4年度	4,832人	519人	17.2人

行 事 名	実 施 期 間	参加延べ人数
夏祭り	令和4年9月14日～9月16日	57名
運動会	令和4年10月12日～10月14日	55名
クリスマス会	令和4年12月21日～12月23日	47名
外出(コスモス)	令和4年10月15日～10月24日	22名
外出(紅葉)	令和4年11月21日～12月2日	30名
花見外出(桜)	令和5年3月24日～3月31日	30名

通所型サービスB事業(ぽかぽか庵)

地域の要支援者及び事業対象者の閉じこもり予防や社会参加を目的に開催しているぽかぽか庵は、介護支援サポーターの皆さんにご協力いただきながら

サービスを実施してきました。

ご利用者の皆さんには顔なじみの関係性もできていて、現在ではぽかぽか庵がみなさんにとっての憩いの場となっています。施設で感染者が増加していた8月は感染予防の観点から事業を休止せざるを得ませんでした。9月より再開することができました。

ぽかぽか庵(総合事業)年間利用実績

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
令和3年度	88回	480人	5.4人
令和4年度	96回	658人	6.8人

居宅介護支援事業所

ご利用者ができる限り在宅生活を継続できるよう支援するために、法人内の各事業所や専門職と日常的に情報共有やコミュニケーションを図ることを心掛け、円滑な事業運営に努めました。

研修については、情報収集や自己研鑽を目的にZOOM等を利用して積極的に参加しました。

利用者の生活及びサービスの質の向上に繋がるよう、地域包括支援センター及び居宅サービス事業所、行政や各関係機関との連携を強化し、情報交換や情報共有を行いました。

在宅介護支援センター

八幡市委託業務内容

1. 予防事業（はつらつ健康教室）につきましては、猛暑により8月の開催を

中止しました。事業内容の充実を図るために、通所介護事業所と連携を図り、計 20 回実施することができました。

2. 各種保険福祉サービスの種類、利用方法、手続き等に関する情報の提供と、サービスの代行申請（要介護認定、住宅改修、福祉用具の購入等）を行いました。
3. 八幡市からの委託事業である配食サービス（昼食）について、希望者のアセスメント及び申請の支援を行い、安否確認を兼ねたお弁当のお届けを実施しました。また、八幡市委託事業の対象とならなかった方についても、必要性が高いと判断した時は、独自の配食サービス（昼食・夕食）を実施しました。
4. 地域のニーズの把握及び相談を受ける機会を持ち、サービスに関する情報提供及び利用の啓発に努めました。
5. 地域包括支援センター、民生児童委員、学区福祉委員、自治会役員などと連携を図り、地域の高齢者を支援しました。

① 相談業務実施状況

年 度	年 間	月平均
令和 3 年度	45 件	3.75 件
令和 4 年度	28 件	2.33 件

② 訪問調査等実施状況

年 度	訪問調査件数	福祉用具購入 支援数	住宅改修 支援数
令和 3 年度	27 件	1 件	5 件
令和 4 年度	16 件	3 件	5 件

③ 配食サービス関係

年 度	八幡市委託分 (昼食)	八勝館独自サービス (昼食・夕食)
令和3年度	2,144食	1,299食
令和4年度	2,378食(内障害21食)	1,121食

④ 介護予防事業開催状況(はつらつ健康教室)

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
令和3年度	12回	94人	7.8人
令和4年度	20回	101人	5人

調理室

季節折々の松花堂弁当や行事食を提供する事で、利用者の皆さんに大変満足していただくことができました。特に施設サービス事業所で開催した年忘れ会では、介護、看護職員と打ち合わせを行い、協力し合いながら提供したイベント食を提供し、利用者の皆さんに大変喜んでいただけました。

昨年度と同様に職員間でのミーティングやコミュニケーションをこまめに行い、改善点などの情報を共有し、調理作業時の業務の効率化、均一な食事提供に努めました。

理事・監事・評議員等名簿

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日
理事長	遠州 伸高	令和3年6月24日
業務執行理事	河本 直樹	〃
〃	中川 晶勝	〃
理事	佐々木 貴昭	〃
〃	佐野 良夫	〃
〃	藤井 さよ子	〃

役職名	氏名	就任年月日
監事	大高 俊生	令和3年6月24日
〃	山本 政名	〃

役職名	氏名	就任年月日 ※任期4年
評議員	岩田 晃一	令和3年6月24日
〃	北村 和夫	〃
〃	梶原 寛之	〃
〃	波田 容子	〃
〃	牧野 誠司	〃
〃	松田 千登勢	〃
〃	遊佐 勝彦	〃

